

高梁・新見 の中小企業 経営者のみなさん 社員さんや地域が輝く 会社づくりと一緒に目指しませんか?

今回は備中地区で本会の良さを知って頂くために
「同友会を知る会」を開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください。

日時

9月26日(金) 18:40~21:30

場所

高梁総合文化会館レクチャールーム

高梁市原田北町1212 TEL.0866-22-1040

参加費
無料!!

事例発表

テーマ **社員のやる気を引き出すためには?**
~ 危機感の共有が我が社を救った!! ~

報告者 (株)成和設備工業所 代表取締役 藤井孝章 氏
(岡山同友会副代表理事)

藤井氏は県内大手設備会社を退職後、その経営手腕が評価されて(株)成和設備工業所に入社。翌年には同社3代目社長に就任しました。しかし、突然の大型負債と急病による入院で深刻な危機に直面し、取引先や社員との関係も悪化。そんな時に紹介された中小企業家同友会での学びをヒントに会社の再生に取り組み、社員と一緒に過去最高の業績を更新。以後、新分野開拓と新規顧客拡大でめざましい業績を上げています。



(株)成和設備工業所
設立:1966年
資本金:2000万円 社員数:20人
事業内容:
空調設備・衛生設備・防災設備・環境設備など

切り取らずそのままFAXしてください

同友会を知る会 参加申込書

申込締切/9月22日(月)まで

	氏名	企業名	役職
1			
2			
3			

おところ:

電話番号:

FAX番号:

紹介者:

お申込・
お問い合わせ

岡山県中小企業家同友会 FAX 086-225-3662

岡山市北区富田29 TEL 086-222-7473 <http://okayama.doyu.jp/> E-mail : info@okayama.doyu.jp

よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざします!!

- 経営指針(理念・方針・計画)を作りたい。
- 後継者育成をしたい。
- 幹部・社員教育をしたい。
- 共同求人で新卒採用をしたい。
- 本音で語りたい。
- 人脈を広げたい。
- 全国の経営者との交流をしたい。



生きた経営から学ぶ!!

支部例会・地区会

会員による赤裸々な経営体験報告は同友会でなければ聞くことができません。グループディスカッションの中から経営に生かすべきポイントを学べ、成長へのきっかけとなります。

さまざまな 経営課題について学ぶ!!

委員会活動

障害者問題委員会、環境委員会など多彩な委員会活動を通じて時代認識を学べます。

経営者の 学びの場

共に学びましょう!!

社員と共に学ぶ!!

社員共育大学・同友会大学 幹部社員大学

経営者と社員が共に学ぶカリキュラムは、同友会ならでは。会外からも高く評価されています。

会員同士の 連携から学ぶ!!

合同企業説明会・合同入社式

一社だけでは出来ない事も会員同士の協力で実現出来ます。

<吉備高原支部の最近の主な活動>

- 「はじめての経営分析／高田鮮税理士」(2012年7月例会in吉備中央町)
- 「2013新春経営講演会／未来工業(株)・山田昭男氏」(岡山プラザホテル)
- 「自社の経営課題にどう向き合うか／大阪経済大学・太田一樹教授」(2013年2月一泊研修会)
- 「吉備中央町長との懇談例会」(2013年3月例会in吉備中央町)



支部会員の声

入会するまで、理念や方針、計画を考えても実行できない日々を過ごしていましたが、経営指針に基づいて経営している仲間の姿に触発され、弊社の経営が変わりはじめました。この会へ入り、仲間の存在の大切さを日々、痛感しています。

会員U社(高梁市)

入会して5年になります。経営理念・指針を作成し実行してみて社員さんに仕事の理解を深めていただくことでスムーズに業務を行えるようになりました。先輩社長には新卒採用、3S、朝礼などさまざまなアドバイスを頂き、他では味わえない学びを得て会社を元気にしつつあります。

会員K社(吉備中央町)

2年前に入会しました。それまで行き当たりばったりな経営をしていた中、会員の方々にフォローをいただき、経営計画を作成、発表する経営指針成文化を受講、理念の重要性を深く学び、理念に沿った計画がいかに大切かを知りました。社員と共に悩み創った計画、毎年の成文化(発表、見直し)を実践し、時代の変化に対応できる企業を、そして社員と共に夢の見れる企業づくりに取り組んでいます。

会員U社(新見市)



中小企業家同友会は、47都道府県・全国約4万3千社が加盟する中小企業経営者の団体です。業種も規模も異なる様々な経営者がお互いの経営体験を持ち寄り、あらゆる悩みにこたえ、共に解決します。通常なら決して知ることのできない他社の悩みや課題、経営に必要な知識や成功のヒントを共有し、ほかでは得られない深い学びと交流ができるのが最大の醍醐味です。